

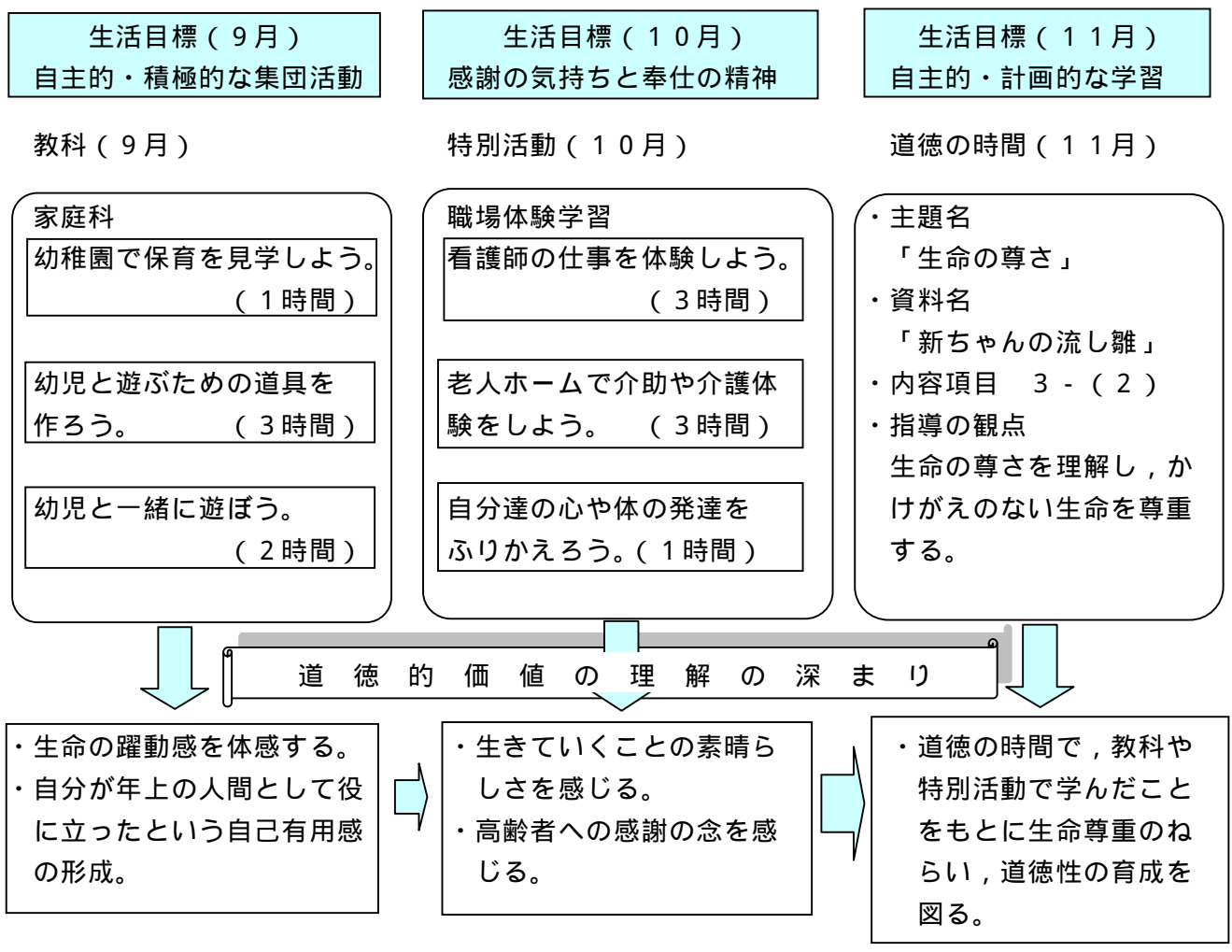
各教科，特別活動，総合的な学習の時間との関連を図った 道徳教育の充実

学校における道徳教育は，道徳の時間をかなめとして，各教科，特別活動，総合的な学習の時間など，全教育活動を通して，子どもの道徳性の育成を図るものである。

1 各教科や特別活動と響き合わせる

各教科における学習と「道徳の時間」の指導のねらいが同じ方向性をもつものである場合，学習時期や教材を考慮したり，相互に連続させたりして，関連をもたせた指導をすることによって，互いの効果を一層高めることができる。

家庭科（教科），特別活動と「道徳の時間」の関連を図った実践例（中学校第3学年）



高めたい道徳性の内容

3の(2)・・・生命の尊さを理解し，かけがえのない自他の生命を尊重する。
 4の(6)・・・父母，祖父母に敬愛の念を深め，家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

中学校学習指導要領解説 道徳編

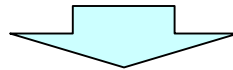
2 総合的な学習の時間と響き合わせる

総合的な学習の時間においては、子どもの興味・関心に基づく体験的な学習を通して道徳性の育成が図られる。子どもの道徳性がより発展的、調和的に育っていくよう総合的な学習の時間と道徳の時間との関連を図り、全体として道徳教育を充実していくことが大切である。

総合的な学習の時間と道徳の時間の関連を図った実践例（小学校）

総合的な学習の時間 「わがまち函館のよさを紹介しよう！！」（取材まで12時間）

函館について、知っていることを交流し、調べたいことを考える。（2時間）
 函館のよさについて資料で調べる。（1時間）
 函館でしかできない体験や取材を考える。（2時間）
 インターネットや文献などをもとに、広く紹介したい函館のよさについて考える。（2時間）
 取材や体験したいテーマについて話し合い、取材や体験の準備をする。（2時間）
 グループごとに取材に出かける。（3時間）



道徳の時間（1時間）

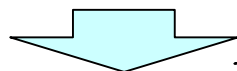
主題名「郷土を守る」4 - (7) 資料名「町名を守る」

<ねらい> 人は誰でも郷土の自然や文化、伝統に愛着をもつ気持ちがあることに気づかせ、郷土を大切にしていこうとする意欲を高める

展開の概要（第5学年）

	指導の流れ	支援・留意点
気づく	1 自分たちが大切にしている物や思い出について振り返る。	大切にしている理由を考えさせる。
つなげる	2 資料「町名を守る」を読み、古くからの地名を守るために活動した人たちの心情を考える。	町並みのよさを大切にしている三宅さんの気持ちに共感させるようにする。
見つける	3 これからも、残していきたい郷土のよさについて話し合う。	函館にスポットあて、どんなところを残していきたいか発表させる。
ひろげる	4 郷土を愛し、郷土を新聞（テレビ）で紹介している方の話を聞く。	地域の方との交流を図る。

総合的な学習の時間で地域の人にインタビューしてきたことや交流したことを関連させ、郷土愛を高めていく。



高まる郷土愛

総合的な学習の時間 「わがまち函館のよさを紹介しよう！！」（まとめ・発信7時間）

取材してきたことをもとに、函館のよさを様々な方法（新聞、パンフレット、ホームページなど）で発信する。（7時間）
 よさを改めて話し合い、郷土への意識を高める。